



発行
日蓮聖人門下連合会

〒146-8544
東京都大田区池上1-32-15
電話 (03) 3751-7181
https://nichiren-monka.org

令和6年2月16日
第69号

能登半島地震に際して

令和6年1月1日に発生した能登半島地震に際し、被災なされました全ての方々に、心よりお見舞い申し上げます。

また、お亡くなりになられた方々へ謹んで哀悼の意を表し、深い悲しみにあるご家族や関係者の皆さまに衷心よりお悔やみ申し上げます。

未だ避難生活を余儀なくされ、不安な日々を過ごされている被災者の皆さまが、1日も早く安穩なる日常に戻られますことを心よりお祈り申し上げます。

日蓮聖人門下連合会

観心本尊抄述作 七百五十年慶讃記念佐渡結集を終えて

日蓮聖人門下連合会理事長 田中恵紳

去る令和5年9月13日、日蓮聖人流謫の地、佐渡島において観心本尊抄述作七百五十年慶讃記念佐渡結集が、当会加盟の各団体、そして地元佐渡の各聖各位によるご理解とご協力のもと、無事円成することができましたこと、心より厚く御礼申し上げます。

宗派の垣根を越え、各団体がこの度の結集成功に向け、互いに手を取り合いながら、各々の役目を全うしている姿はとて印象深く、当会を組織された先師等の思いに報いるものであったと感じ入りました。企画運営をおこなって

去る令和5年9月13日、日蓮聖人流謫の地、佐渡島において観心本尊抄述作七百五十年慶讃記念佐渡結集が、当会加盟の各団体、そして地元佐渡の各聖各位によるご理解とご協力のもと、無事円成することができましたこと、心より厚く御礼申し上げます。

宗派の垣根を越え、各団体がこの度の結集成功に向け、互いに手を取り合いながら、各々の役目を全うしている姿はとて印象深く、当会を組織された先師等の思いに報いるものであったと感じ入りました。企画運営をおこなって

「佐渡結集」御礼

日蓮宗霊跡本山妙照寺 鈴木日教

日蓮聖人門下連合会各宗派の本山貫首、宗務総長御重鎮におかれましては、昨年9月14日の佐渡結集に際し、当山妙照寺に御来山御回向賜り誠に有難うございました。

日蓮聖人「如来滅後五百歳始観心本尊抄」述作七五〇年という節目の時に、述作の当地において結集されましたことは、忘れえぬ貴重な体験でございます。

当山は先般の火災により、本堂の跡地に仮祭壇を設けて

日蓮聖人「如来滅後五百歳始観心本尊抄」述作七五〇年という節目の時に、述作の当地において結集されましたことは、忘れえぬ貴重な体験でございます。

当山は先般の火災により、本堂の跡地に仮祭壇を設けて

唯一無二の霊場であり、多くの寺院、檀信徒が参詣されて



從地ゆじゅつ

◆年明け、義父を亡くしました。昨年、一念發起して僧籍を取得し、僧として第二の人生を出発させようとした矢先でした。

◆「せつかくお坊さんになったのに…：信仰に目覚めたのに…：」家族の疑問は如何ともしたいものがありました。

◆そもそも、身内や近い人の生老病死は、信仰のきっかけにもなると同時に信仰がゆるぐ時でもあります。

◆「あんなに信心深い人だったのに、何故病気になるのか」「何故死んでしまったのか」という悩みや悲しみはいつの時代であっても変わらないものです。その感情につけ込み、信仰を変えさせ、高額な負担を強いる宗教があったこと、それによって家庭崩壊や社会の混乱にまで発展してしまっ

たことがあるといことは歴史的事実として忘れてはならないことでしょう。

◆このようにときに我々日蓮門下に生きる者は、有難いことに日蓮聖人のお手紙に依ることがあります。

◆日蓮聖人在世の時代であっても現代と同じように不慮の事故や病気による死や、子に先に逝かれた方、未亡人もおられました。こうした方々に対して日蓮聖人は本當に親身になり、涙を流さんばかりのお手紙を記され、それが現存しています。

◆本年年初の能登地震や世界各地での紛争戦争といった多くの人の悲しみ苦しむと共に、個々の人が抱える悩み苦しみの答えとして、日蓮聖人に再度教えを請う。

◆義父の死を通じて改めてそのことを誓うことになりました。と同時に、お題目をお唱えできるところへの感謝を実感した次第です。

(寛)

「佐渡結集」参加者の声

本門法華宗

長學寺 吉村光敬

私は佐渡結集慶讃法要担当を仰せつかり、実行委員として参加させていただきました。

法要を厳修するにあたり、参加者の皆様が異体同心となる式次第を目指し、読み方が共通する自我偈を中心に、題目三唱・勸請・自我偈・慶讃文・神力偈・祖訓・唱題・回向・題目三唱のお題目を本とする式次第とし、祖訓は本尊抄四十五字法体段から佐渡始願曼荼羅本尊が顕示されている「今本時（但限八品）」として、門連だより編集会議で話し合い、決定しました。

お題目を唱える門下同志、互いの立場を尊重し、話し合い、助け合うことで無事に開催できました。皆様のご協力に実行委員として感謝申し上げます。ありがとうございます。

この一体感を大切にしていきたいと思えます。

門下の皆様、機会を作ってください、日蓮聖人のご加護を体感できる、佐渡にお参りして下さい。それが佐渡の復興、報恩感謝に繋がると信じております。被災された方々には心からお見舞い申し上げます。合掌

翌日は晴天の中、記念報恩法要に参列させていただきました。日蓮門下の多くの方々と同席する機会はこれまでありませんでしたので、とても新鮮な気持ちでお題目をお唱えさせていただきました。私どものご本山である鷲山寺様も日蓮聖人が一夏九句を過ごされた霊場です。昭和29年に本堂が焼失して

いよように感じました。法要後には妙宣寺様を参拝、妙宣寺様では関下のお心遣いで、法華宗管長である日賢猊下のお導師でお題目をお唱えさせていただきました。私どもの御前様が日蓮聖人御縁の地である佐渡で導師をお勤めされたことは、檀信徒としてこの上ない喜びでした。

9月12日、佐渡に到着し、車で妙照寺に向かう途中、飛んでいる朱鷺を見ました。この朱鷺は日蓮聖人のお使いで、ご加護だと感じ、結集が無事開催されると確信しました。

今回の、宗祖日蓮大聖人「観心本尊抄」述作七五〇年記念報恩法要並びに法華宗（本門流）宗務院主催の佐渡団参に参加させていただきました。法華宗（本門流）大本山鷲山寺の檀家総代としております、石川と申します。

今回、このような素晴らしい機会をお作り頂いた関係者の皆様に感謝申し上げます。これからも日蓮聖人への思いを胸に一遍でも多くお題目をお唱えさせて頂きたいと思えます。ありがとうございます。

法華宗（本門流）

大本山鷲山寺檀家総代

石川賢作

この度、団参で佐渡を訪れることができ、大変有難く思っております。私自身佐渡へ行くのは初めてで、良い経験が沢山あることが出来ました。

初日、法華宗の皆様と一緒に

14日、本尊抄を拝読し、報恩感謝のお題目を唱え、観心本尊抄述作七五〇年慶讃法要を異体同心に厳修することができました。

佐渡結集に参加し、ともに

佐渡結集に参加し、ともに

佐渡結集に参加し、ともに



ホテル八幡館での懇親会

令和五年九月十四日 午前十時

於 佐渡一谷 妙照寺

日蓮聖人門下連合会主催

日蓮聖人観心本尊抄述作

七五〇年慶讃記念法要

式次第

先、入場

一、開式之辞

一、題目三唱

一、勸請

一、読経

一、焼香

一、慶讃文

一、読経

一、祖訓

一、唱題

一、回向

一、挨拶

一、謝辞

一、題目三唱

一、閉式之辞

結、退場

「如来滅後五五百歳始観心本尊抄」

今本時の娑婆世界は三災を離れ四劫を出でたる常住の浄土なり。仏既に過去にも滅せず未来にも生ぜず。所化以て同体なり。此即ち己心の三千具足三種の世間なり。迹門十四品に未だ之を説かず。法華経の内に於いても時機未熟の故なるか。此の本門の肝心南無妙法蓮華経の五字に於いては、仏猶文殊薬王等にも之を附属したまわず。何に況んやその已下を。但地涌千界を召して八品を説いて之を附属したもう。其の本尊の為体本師の娑婆の上に宝塔空に居し、塔中の妙法蓮華経の左右に、釈迦牟尼佛・多寶佛・釈尊の脇士は上行等の四菩薩、文殊弥勒等の四菩薩は眷属として末座に居し、迹化・他方の大小の諸菩薩は万民の大地に処して雲閣月卿を見るが如し。十方の諸仏は大地の上に処したもう。迹佛迹土を表するが故なり。是の如き本尊は在世五十余年に之無し。八年の間、但だ八品に限る。

日蓮宗宗務院

管 長 菅野日彰 財務部長 笠井照永
 宗務総長 田中恵紳 宗務総長室長 秋山文裕
 伝道局長 柳下俊明 現代宗教研究所長 赤堀正明
 総務局長 光岡潮慶 参 与 渡邊義生
 伝道部長 長谷川雄一 参 与 田中智海
 教務部長 川久保光隆 日蓮宗新聞社社長 田邊木蓮
 総務部長 畑 栄明

〒146-8544 東京都大田区池上一-三二-一五
 電話 〇三(三七五)七一一
 FAX 〇三(三七五)七一八六
<https://www.nichiren.or.jp>

法華宗(本門流)宗務院

管 長 佐藤日賢
 宗務総長 金井孝顕
 教学部長 清水常光
 布教部長 三吉廣明
 総務部長 平田義生
 財務部長 久野晃秀
 企画部長 吉崎長生

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町二一九-一
 電話 〇三(五六一四)三〇五五
 FAX 〇三(五六一四)三〇五六
<http://www.hokkeshu.or.jp>

顕本法華宗宗務院

管 長 大川日仰
 宗務総長 河野時巧
 宗務次長 小松正学
 財務部長 吉田諦規
 布教部長 小川正展
 庶務部長 金坂正道
 社会部長 森田修應
 教務部長 二宮無尽

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一
 電話 〇七五(七九二)七一一
 FAX 〇七五(七九二)七二六七

法華宗(陣門流)宗務院

管 長 鈴木日慧
 宗務総長 西山英成
 総務部長 牧野秀宜
 企画部長 金原孝達
 財務部長 西山聡高
 教学部長 布施義憲
 教化部長 松吉慶憲
 宗務参事 田中隆寛
 宗務参事 田内孝照
 宗務参事 竹内敬雅

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨五-三五-一六
 電話 〇三(三九一八)七二九〇
 FAX 〇三(三五七六)〇一一一

本門佛立宗宗務本庁

宗務総長 新井日現
 宗務副総長 永江日盡
 宗務副総長 谷 信一
 教育局長 植田日事
 弘通局長 山内日得
 総務局長 藤本日唱
 広報局長 澤田日松
 財務局長 姫野正文
 奉賛局長 柴崎日布

〒602-8377 京都市上京区御前通一条上る東堅町一〇番地
 電話 〇七五(四六一)一六六代
 FAX 〇七五(四六一)五九九九

日蓮本宗宗務院

管 長 丹治日遠
 宗務総長 西尾弘道
 総務部長 住友公亮
 財務部長 柳下真敬
 教務部長 柳下真敬

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇寺町四四八
 電話 〇七五(七七二)三三九〇
 FAX 〇七五(七七二)五九一四
<http://honzanyoboji.or.jp>

法華宗(真門流)宗務庁

管 長 上田日猷
 宗務総長 堀内浩善
 総務部長 坂本法保
 企画部長 峰尾泉栄
 教学部長 舟積法宏
 教化部長 水野智悠
 社会部長 堀 雅博
 財務部長 堀 雅博

〒602-8447 京都市上京区智慧光院通り五辻上ル紋屋町三三〇
 電話 〇七五(四四一)五七六二
 FAX 〇七五(四四一)五六六六

本門法華宗宗務院

管 長 別所日山
 宗務総長 香川日憲
 宗務部長 増田日倫
 総務部長 吉村日彦
 財務部長 高邊晶啓
 教務部長 山下揮正
 庶務部長 松本真隆

〒602-8418 京都市上京区寺之内通大宮東入大本山妙蓮寺内
 電話 〇七五(四五二)三五二七
 FAX 〇七五(四五二)三五九七

宗教法人 国柱会

賽 主 田中壮谷
 理事長 松浦正
 門連理事 森山真治
 門連常任理事 藤本坦孝
 門連理事 的場春奈
 編集委員

〒132-0024 東京都江戸川区一之江六一一九-一八
 電話 〇三(三五六)七二二代
 FAX 〇三(三五六)九九八〇
<http://www.kokuchukai.or.jp>

日本山妙法寺大僧伽

首 座 木津博充
 責任役員 川岸行孝
 同 武田隆雄
 同 長濱行豊
 同 行德行得

日本山妙法寺大僧伽事務局
 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町八一七
 電話 〇三(三四六一)九三六三
 FAX 〇三(三四六一)九三六七

京都日蓮聖人門下連合会

会 長 別所日山
 副会長 上田日瑞
 理事長 末本樹哉
 副理事長 小田和幸

京門連事務局
 〒602-8418 京都市上京区妙蓮寺前町八七五
 電話 〇七五(四五二)三五二七
 FAX 〇七五(四五二)三五九七

大阪日蓮聖人門下懇話会

理事長 伊藤信城 問 門谷光瑞
 副理事長 藤本経尚 問 中村日游
 顧問 木下恵温 問 東 孝信
 顧問 藤村恵容

〒542-0012 大阪府大阪市中央区谷町九-一一-二七
 電話 〇六(六七六)七三二三
 FAX 〇六(六七六)六六四九

「共に生き 共に栄える
共栄運動推進中」

日蓮宗総本山 身延山久遠寺

〒409-2593 山梨県南巨摩郡身延町身延三五六七
電話 〇五五六(六二)一〇一一
FAX 〇五五六(六二)一〇九四

日蓮宗大本山 池上本門寺

貫首 菅野日彰
執事長 木内隆志
役員一同

〒146-8576 東京都大田区池上一一一一一
電話 〇三(三七五)一三三三一
FAX 〇三(三七五)三三五〇

法華宗(本門流)大本山 光長寺

貫首 久保木日將
執事長 石田智宏
辻之坊 石岡顕洋
南之坊 浦邊法善
西之坊 宮村光明
山本坊 武市秀学
書記 上野孝教

顕本法華宗総本山 妙満寺

貫首 大川日仰
総務 土持栄孝
執事 湯原正純
執事補 足立幸謙
執事 澤地真也

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一
電話 〇七五(七九二)七二七一
FAX 〇七五(七九二)七二六七

法華宗(陣門流)総本山 本成寺

貫首 鈴木日慧
寺務所員一同

〒955-0845 新潟県三条市西本成寺一―一―二〇
電話 〇二五六(三三)〇〇〇八
FAX 〇二五六(三三)〇〇五九

法華宗(真門流)総本山 本隆寺

貫主 上田日猷
執事長 永岡悠希
執事 笹木研吾
参事 矢放啓亮
与本多信正

〒602-8447 京都市上京区智恵光院通り五辻上ル紋屋町三三〇
電話 〇七五(四四二)五七六二
FAX 〇七五(四四二)五六六六

本門法華宗大本山 妙蓮寺

貫首 別所日山
執事長 末本樹哉
役員一同

〒602-8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東入妙蓮寺前町八七五
電話 〇七五(四五二)三五二七
FAX 〇七五(四五二)三五九七

多寶富士山 本山要法寺

貫首 丹治日遠
執事長 西尾弘道
執事 住友公亮
執事 柳下真敬

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇寺町四四八
電話 〇七五(七七二)三三九〇
FAX 〇七五(七七二)五九一四
HP honzanyoboji.or.jp

本門佛立宗本山 宥清寺

住職 高須日良
二十六世講有
執事 高取塔宥
事務局長 栢森良道

〒602-8336 京都市上京区二条通七本松西入滝ヶ鼻町一〇〇五一
電話 〇七五(四六三)四六二〇(代)
FAX 〇七五(四六三)四六五一

京都八本山会

会本・本山 立本寺 貫首 上田日瑞
大本山 妙顕寺 貫首 及川日周
大本山 本閉寺 貫首 早川日章
本山 本法寺 貫首 瀬川日照
本山 妙覺寺 貫首 宮崎日嚴
本山 頂妙寺 貫首 田中日淳
本山 妙傳寺 貫首(代) 近藤日康
本山 本満寺

京都 法華門流懇話会

法華宗(真門流) 総本山本隆寺 貫主 上田日猷
顕本法華宗 総本山妙満寺 貫首 大川日仰
法華宗(本門流) 大本山本能寺 貫首 桃井日英
本門法華宗 大本山妙蓮寺 貫首 別所日山
日蓮本宗 本山要法寺 貫首 丹治日遠
本門佛立宗 本山宥清寺 講有 高須日良
顕本法華宗 本山寂光寺 貫首 大川日仰
法華宗(陣門流) 本山本禪寺 貫主 赤塚日辰

日蓮宗大本山 日蓮聖人出家得度の霊場 千光山 清澄寺

別當 齊藤日敬
執事長 宮崎雅宣

〒299-5505 千葉県鴨川市清澄三二二一
電話 〇四(七〇九四)〇五二五
FAX 〇四(七〇九四)〇五二七

宗祖御降誕霊場 日蓮宗大本山 誕生寺

貫首 片桐日岳

〒299-5501 千葉県鴨川市小湊一八三
電話 〇四(七〇九五)二六二一
FAX 〇四(七〇九五)二〇五五

日蓮宗霊跡本山比企谷 妙本寺

貫首 鈴木日敬

〒248-0007 神奈川県鎌倉市大町一―一五―一
電話 〇四六七(二二)〇七七七
FAX 〇四六七(二五)六九六七

日興上人御聖廟 日蓮宗大本山 富士山法華本門寺根源

貫首 旭日重
参与一同 鈴木春雄
執事長 鈴木春雄
役員一同

〒418-0112 静岡県富士宮市北山四九六五
電話 〇五四四(五八)一〇〇四
FAX 〇五四四(五八)〇三〇三

日蓮宗大本山 中山法華経寺

貫首 新井日湛
参与 植田観樹
参与 松本慈恵
参与 關観亮
参与 土田恵敬
参与 松永慈弘

〒272-0813 千葉県市川市中山二―一〇―一
電話 〇四七(三三四)三三三三
FAX 〇四七(三三四)一七九六

やくよけ祖師 日蓮宗本山 堀之内妙法寺

山主 山田日潮

〒166-0013 東京都杉並区堀之内三一四八―八
電話 〇三(三三三)六二四一
FAX 〇三(三三三)五〇〇七

日蓮門下お題目初唱之霊場 日蓮宗本山東身延 藻原寺

貫首 持田日勇
総務 増田寶泉
執事 富永一道
執事 中川貫泰

〒297-0026 千葉県茂原市茂原一―二〇―一
電話 〇四七五(二二)三一五三
FAX 〇四七五(二二)一一七三

徳川家康公報恩創建 日蓮宗由緒寺院 除厄安産飯匙の祖師・七面大明神奉安 瑞輪寺

貫首 井上日修
執事長 稲荷泰雅

〒110-0001 東京都台東区谷中四―二―一五
電話 〇三(三八二)四三七三
FAX 〇三(三八二)七〇三三



門連時報

京都理事會開催さる

令和5年11月14日(火)、日蓮聖人門下連合会 京都理事會が開催され、全門連及び京都門下連合会各聖、大阪門下懇話会理事長等、52名が参列した。

午後1時30分、妙覺寺貫首宮崎日嚴親下を大導師に、副導師には京都日蓮聖人門下連合会理事長の小田和幸上人、同じく副理事長の佐藤泰慎上人を仰ぎ、参加者一同が本堂に参列して法味を言上した。

その後、会場を京都プライトンホテルに移し、野村美術館館長谷晃氏より「妙覺寺と織田信長の茶会」と題した講演がなされた。

午後4時30分、田中恵神理事長が座長となり理事會が開会。任期満了に伴う監査推薦について諮られ、承認。その後、事務局より上半期の事業報告がなされ、殊に9月13～14日に開催された「日蓮聖人観心本尊抄作七百五十年慶讃記念佐渡結集」に関して詳細に報告された。続いて京都門下連合会、大阪門下懇話会よりそれぞれ活動報告がなされた。

また、「その他」の議題として令和6年1月16日より東京国立博物館にて特別展『本阿弥光悦の宇宙』(主催・東京国立博物館)が開催される旨が鶏内常任理事より報告された。本展は日蓮宗僧侶の有志によって立ち上げられた一般社団法人「日本文化芸術の礎」が協力団体となり、池上本門寺、中山法華経寺、叡昌山本法寺等で保管される本阿弥光悦由来の作品も多数展示される予定である。

理事會終了後、午後5時30分より懇親會を開催。和やかな雰囲気の中、出席者同士が親睦を深め、

有意義なひと時を過ごした。

京都日蓮聖人門下連合会 事業開催

日蓮宗門下連合会 日蓮大聖人御降誕會

10月7日(土) 京都市左京区日蓮宗 本山 妙傳寺にて、京都日蓮聖人門下連合会主催のもと、御會式が執り行われ、檀信徒、関係者各聖約200人が参詣した。

法要に先立ち、行脚隊や万灯行列など総勢約80名が妙傳寺周辺を練り歩いた。行脚隊と万灯行列が妙傳寺に到着すると、引き続き本堂前にてお囃子に合わせて纏が豪快に振られた。さらに立命館大学の学生で結成された和太鼓ドンによる和太鼓奉納が始まると一段と賑やかさを増し、大変な盛り上がりを見せた。その後、本堂にて法華宗(真門流) 総本山 本隆寺貫主 上田日猷親下による講話があった。上田親下は「法華経には現世安穩にして後に善処を生じと説かれていられるのですよ」と法華経の信仰の正しさを分かりやすく説明された。

そして最後に「皆さん、善男子善女人となつて精進をしましょ



う」と語られ、多くの参詣者は熱心に聞いていた。

引き続き、京都一部寺院婦人會と檀信徒有志による和讃奉納が始まると、堂内はゆっくりとした時間が流れ出し、参拝者は自然と合掌をしながら団扇太鼓と日蓮聖人を讃える詩句に耳を傾けた。その後、妙傳寺貫首 近藤日康親下が大導師の下、御會式が執り行われ、お題目の音が広い本堂に響いた。

大阪日蓮聖人門下懇話会 事業開催

第31回 報恩合同御會式

令和5年11月12日(日) 午後2時より法華宗(本門流)・大阪谷町妙法寺において、僧侶80名以上の参詣者を集め、修行された。参加者は任意での検温やアルコール消毒、マスク着用、主催者側も換気や三密回避など感染症対策を施し、賑々しく厳修された。日蓮聖人への報恩唱題は、堂内はもとより近隣へも響き、檀信徒の声として、僧侶の一体感を感じられる法要であった。

恒例の法話では、「浄土とは」と題し、日蓮宗・日聖寺住職・藤本静潤師(日蓮宗大阪和泉管区布教師会長)の高座説教が行われた。笑いあり、涙ありの、情緒的で、熱のこもった練り弁説教は時間を感じさせず、聴衆にとつて信心を深める貴重な時間となった。

第34回 研修會

令和5年12月8日(金) 午後4時より法華宗(本門流)・大阪谷町妙法寺において、25名の聴衆を集めて開催された。講師は法華宗(本門流)「興隆学林専門学校」時間講師・大阪大正妙法寺住職・野坂教翁師。「現代物理学と法華経」と題しての研修が行われた。師は大学院まで理学研究科物理学を専攻され、その後、企業に就職し素粒子の解明に尽くされた経歴の持ち主で、現在は宗門の僧侶養成機関で活躍されている。

まず、物理学の概要、現代物理学と分類される研究上の素粒子等の話、その上で、ともに難信難

解たる現代物理学と法華経・法華思想の類似点を説示された。結びに、物理・自然科学における未解明現象の新たな発見から法華経の説く真実が現証として明らかになることを期待したいとされたが、大前提として、法華経への信仰・信心を通して見る必要があることも教示された。闊達な意見交換もなされ、新しい視点の講究は大いに刺激となり、意義深いものであった。

第26回 本山由緒寺院参拝日帰りバスツアー

令和6年3月28日(木)に催行予定。参拝寺院は日蓮宗・和歌山市・本山報恩寺。募集人数はバス2台・80名を予定。バスツアーは報恩事業の大切な柱であり、信未信を問わず、一人でも多くの参加者を募り、法華経・南無妙法蓮華経への信仰に触れ、参加者相互の懇親や信仰を深める機会とした。

文庫版小説『日蓮』発売のお知らせ

令和3年に発売され、過去に本紙(門連だより第63号)でも紹介した佐藤賢一著、小説『日蓮』が待望の文庫本となり発売された。本書は「小説新潮」にて佐藤氏が連載されていた小説『パッション』を、「日蓮」と改題し発行。

▼人事(事務局への連絡日を含む)

年月日	氏名	宗派	門連役職	就任/退任
令和6・1・1	上田日猷	京門連	顧問	退任
令和6・1・1	小田和幸	京門連	常任理事	退任
令和6・1・1	末本樹哉	京門連	常任理事	退任
令和6・1・1	佐藤泰慎	京門連	理事	退任
令和6・1・1	小田和幸	京門連	理事	退任
令和6・1・9	今井行康	日本山妙法寺	顧問	退任
令和6・1・9	木津博充	日本山妙法寺	常任理事	退任
令和6・1・9	木津博充	日本山妙法寺	顧問	退任
令和6・1・9	木津博充	日本山妙法寺	顧問	退任

▼御連化

年月日	氏名	宗派	門連役職
令和6・1・14	伊丹栄彰	日蓮宗	前理事
令和6・1・21	内野日総	日蓮宗	前顧問

計報

門下連合会前理事 伊丹栄彰上人御連化

門下連合会前理事、伊丹栄彰上人が去る令和6年1月14日に遷化された。世寿97歳。昭和40年に大阪府雲雷寺住職に就任。平成10年に日蓮宗本山 本満寺貫首に就任。他、大阪日蓮聖人門下懇話会理事長、京都日蓮聖人門下連合会会長等の要職を歴任された。

門下連合会前顧問 内野日総親下御連化

門下連合会前顧問、内野日総親下が去る令和6年1月21日に遷化された。世寿99歳。昭和21年に山梨県清水房住職に就任。平成10年に日蓮宗本山 瑞輪寺貫首に就任。平成18年に日蓮宗総本山 身延山久遠寺法主に就任。平成22年より第52代、平成26年より第53日日蓮宗管長を務められた。

渡邊實陽 著
監修 財団法人「法華会」
編集・発行 (株)日蓮宗新聞社

法華三部経大講義

本刊行は小林一郎・久保田正文両先生の『法華経大講座』の精神を引き継ぎ、日蓮聖人が読まれた立場で解説した法華経全巻と開経・結経の要点を概説しています。初学の読者にも容易に理解出来るよう配慮した、やさしい「法華経理解の入門書」です。

【第1巻】202頁
開経から法華経へ
開経『無量義経』

【第2巻】518頁
『妙法蓮華経』
序品第一～
信解品第四

【第3巻】446頁
葉草喻品第五～
安樂行品第十四

【第4巻】455頁
從地涌出品第十五～
普賢菩薩勸発品第二十八

【第5巻】165頁+全文検索用USB
結経『仏説観普賢菩薩行法経』
文字検索対応PDFデータ
(索引に替えて)

※引用経文(訓読)校訂協力
佐世保本興寺 松本玄経・
岩永泰賢&普賢会・
九州教化センター各聖

A5判 ハードカバー・ケース入り
※セット内容イメージ

五巻には全索引に替えて全文PDFを収納したUSBをセット

全5巻セット 20,900円(税込・送料別)

お申し込みは **日蓮宗新聞社** 〒146-0082 東京都大田区池上 7-23-3 TEL 03-3755-5271/FAX 03-3753-7028 <http://news-nichiren.jp/>



各派・教団・短信

頭本法華宗

◆10月3日、オンラインにおいて第2回全国布教研修会が開催された。研修会では藤崎裕学師による「初期の宗祖本仏論とその現代的展開」頭正会等の主張をめぐって、川崎英真師・朝倉俊泰師による「想定問答」法華問答」と題する講義が行なわれた。

◆10月12日、総本山妙満寺において初めて本宗寺院の住職に任命された僧員の奉誓式が執り行われた。本年は、久成寺(岡山県赤磐市)住職・長濱良瑛師が参列し、御宝前において誓願された。

◆11月3日、5日の3日間において、オンラインにおいて、妙塔学林(研究科)が開講された。

◆11月28日、オンラインにおいて全国僧侶講習会が開催された。講習会では朝倉俊泰師による「法臘五十年を振り返って」、布教総監・秋葉敬真師による「法話のすすめ」と題する講義が行なわれた。

法華宗(陣門流)

◆9月4日、全教師を対象とした中央行学講習会が兵庫県姫路市(関西教区)にて開催された。4日はホテル日航姫路を会場とし、開講式の後、講義が行われた。第1講義は、学林教授、田中隆寛先生より「一部修行と読誦」と題して、お話を頂いた。また第2講義は、東京大学史料編纂所教授、菊地

大樹先生より「鎌倉と日蓮」との講題でお話を頂いた。5日は徹心寺、妙圓寺の2寺院を参拝し、閉講式が行われた。会場参加者に合わせてオンラインでの受講者も加え、今年も100名を超える参加者が集い、学術を学ぶと共に一層の親睦を深めあった。

◆10月1日、雅楽練習会が宗務院において行われた。

◆11月7日、布教研究所所報編集会議が宗務院において開催された。

◆11月16日、17日、別院巢鴨本妙寺において研究発表会が開催された。この発表会は、宗内全教師を対象に発表者を募集し、本宗の教学・教学史・教団史をはじめ、仏教学各分野や化学など、最新の研究成果を公表し合うために開催され、本年も8名の教師が発表し、参加者との活発な議論が交わされた。

◆11月16日、宗学研究所所員会が宗務院において開催された。

◆11月17日、学林教授会が宗務院において開催された。

◆12月4日、5日、宗務院において新任職・学生・沙弥合同研修会が開講された。教学だけでなく、講師の体験を交えた布教活動の実践についての講義を受け、新任職は法話実修などを行い研鑽に励んだ。

◆1月19日、宗務院において第140次法華宗臨時宗会が開催された。

本門佛立宗

◆7月27日、本山宥清寺講堂法悦殿で、大規模災害発生時の指定避難所を補完する地域の防災拠点に協力する協定の締結式が執り行われた。

◆9月4日、高須日良上人、上京区役所原真弓上京区長、翔鷹学区住民福祉協議会会長鎌田雅陸氏、仁和学区から福祉連合会会長の岡野直臣氏が出席した。

◆11月19日、本山宥清寺と同じ京都市上京区にある京都府立鴨沂高等学校吹奏楽部によるコン

サートを本山宥清寺で開催した。同コンサートは、令和4年12月4日、本山を会場に上京警察と上京交通安全協会による年末の交通事故防止府民運動の行事の中で、鴨沂高等学校吹奏楽部による演奏会が催され好評を博したことからの今回の再演が実現した。

◆11月10日、旧ハンセン病国立療養所「長島愛生園佛立講堂」の閉所式を執行した。同地は「愛の一円運動」により宗内の支援を受け、昭和33年佛立講堂が建立された。以来、65年にわたり信行活動が営まれ、入所者の社会復帰の支援やハンセン病へ啓発運動等の拠点として存続してきた。しかし、ハンセン病への理解が進み、佛立講堂も最後の信徒が帰寂したことに伴い、役割を終え閉所の運びとなった。

◆11月より3月25日まで、京都佛立ミュージアムにて「杉野宣雄押し花アート展」を開催。本展では30年以上の創作活動の中から、特に「日本美」を主眼に厳選された約1000点を一堂に公開する。押し花アートの魅力を通じて、植物の美しさを再発見し、自然の素晴らしさ、大切さをあらためて実感できる展示となっている。

◆令和6年能登半島地震のお見舞い
年の初めを過ぎ、これからという時に襲ったこの度の能登半島地震は、被災者のみならず、日本全国に大きな衝撃を与えた。まずは犠牲になられた方々へ心からのお悔やみと、被災された方々へのお見舞いを申しあげるとともに、1日も早い復興を祈念させていただく。宗門としても、早々に災害対策室を立ち上げ、金銭的な支援のみならず、あらゆる角度から出来る限りの支援策を検討している。

◆10月5日、本隆寺に於いて、秋季学林開講。

◆10月12日、13日、総本山本隆寺に於いて、御会式法要奉修。

◆10月12日、御会式法要(初転法輪)举行。

◆11月11日、12日、総本山本隆寺に於いて、「東山未生流いけばな展」開催。

◆12月5日、6日、「令和五年度定期宗会」開催。

◆12月19日、「総本山本隆寺本堂・開眼堂法要」奉修。法要に続き、本隆寺格護・光格天皇御下賜銘入り雅楽器三管による、奉納演奏会を執行。

◆12月20日、「祖師堂閉眼法要」奉修。

◆1月1日、5日、総本山本隆寺に於いて、年頭国持会・法華八講開催。

◆10月5日、(矢放啓亮) 10月12日、大本山妙蓮寺(別所日山貫首)に於いて、宗祖日蓮大聖人御会式法要を奉修。

本門法華宗

◆10月12日、大本山妙蓮寺(別所日山貫首)に於いて、宗祖日蓮大聖人御会式法要を奉修。

◆11月12日、大本山妙蓮寺に於いて、御開山日像菩薩御報恩法要並びに三師会・歴代人年忌法要を奉修。

◆本門法華宗学院(渡辺日恩学院長)第187回教学講習会を、11月28・29日に妙蓮寺卯木講堂にて開催。

◆機関誌「信行」第200号、布教誌「生きる」第81号を1月1日に発行。

国柱会

◆令和5年10月1日、月旦大國持。5日、日蓮聖人門下連合会機関紙編集委員会(於、日蓮宗宗務院)に、森山真治門下編集委員出席。10日、佐渡法難会慶讃法要。12日、日蓮聖人御連夜法要。中央連合協議会有志・本部事務局職員池上参拝。13日、日蓮聖人鶴林会報恩大法要。15日、妙宗大靈廟第1143回例月供養会。17日、恩師忌。賽主・事務局職員常勤給仕。20日、身延先発隊出向。21日、22日、第56回身延大祖廟輪番給仕国柱会奉仕団開催。

◆11月1日、月旦大國持。明治の日を実現しよう! 決起集会(於、衆議院第一議員会館)に、賽主・森山真治運営委員出席。3日、明治節慶讃法要。賽

主先生以下中央同志明治神宮参拝。11日、小松原法難会慶讃法要。中央連合協議会連華サークル開催。15日、申孝園ロクタスヴィラ消防訓練。16日、恩師田中智学先生御連夜法要。17日、恩師田中智学先生第八十五遠忌報恩大法要。式後「正観結束」拝読。19日、妙宗大靈廟第1144回例月供養会。27日、国柱会協議委員会監査。30日、第2回田中智学先生門下懇話会(於、学士会館)に、賽主出席。日蓮聖人門下連合会機関紙編集委員会(於、日蓮宗宗務院)に、森山真治編集委員出席。

京都門下連合会

◆令和6年度行事予定
◆1月20日 新年理事会(ホテル本能寺) 会長別所日山親下、副会長上田日瑞親下、理事長末本樹哉師、副理事長小田和幸師。
◆2月16日 総会(本門法華宗大本山妙蓮寺)
◆同日 御降誕会(本門法華宗大本山妙蓮寺) 導師妙蓮寺貫首別所日山親下、講師日蓮宗本山法華寺貫首瀬川日照親下。
◆3月6日 理事会(大本山妙蓮寺) 立教開宗会、夏季大学の件。
◆4月28日 立教開宗会(比叡山横川定光院) 導師本門法華宗大本山妙蓮寺貫首別所日山親下、講師日蓮宗布教師、後源氏物語ミュージアム観光。
◆6月12日 理事会(大本山妙蓮寺) 夏季大学の件、御会式の件。
◆6月中旬 門下本山会主伴会
◆6月中旬 全門連身延理事会(身延山久遠寺) 会長、理事長等出席予定。

日蓮宗

◆身延山久遠寺で古式豊かな「御年頭会」が1月13日に行われ、六老門跡寺院貫首をはじめ宗務内局らが参列し、祖師堂で年頭会法要、法要後には境内で「曳馬式」が行われた。
◆昨年末、第2次田中内局がスタート。新たに伝道部長に長谷川雄一師、財務部長に笠井照永師、宗務総長室長に秋山文裕師が就任。また日蓮宗新聞社には初の女性社長として田邊木蓮師が就任した。

法華宗(本門流)

◆令和5年10月2・3日 法華宗青年伝道隊長会議開催(於、神戸市内)。コロナ禍後の活動について全国から地区隊長が集まり協議。
◆11月6・10日 第18回教師養成特別講習会第2期開講(於、大本山本興寺)
◆12月3日 法華宗サンフランシスコ仏教会開堂五十周年・宗祖日蓮大聖人聖誕八〇〇年記念事業耐震リフォーム工事完遂記念法要(於、アメリカ・カリフォルニア州 法華宗サンフランシスコ仏教会)

◆8月31日 夏季大学(ホテル本能寺) 講師本門法華宗大本山妙蓮寺貫首別所日山親下、その他講師未定
◆同日 理事会(ホテル本能寺) 御会式の件。
◆10月4日 御会式奉修委員会(本門法華宗大本山妙蓮寺) 御会式準備、打合せ。
◆10月5日 御会式(本門法華宗大本山妙蓮寺) 導師妙蓮寺貫首別所日山親下、講師日蓮宗本山頂妙寺貫首田中智学親下。
◆10月下旬 全門連京都理事会(本門法華宗大本山妙蓮寺)
◆12月下旬 理事会(ホテル本能寺) 行事報告、会計報告の件。
◆12月22日 門下本山会主伴会
◆12月24日 会計監査(日蓮宗京一宗務所)

日蓮聖人門下連合会

◆目的
本会は日蓮聖人の理想を実現するため、祖廟を中心として門下各派及び教団並びに地方門下連合会の連絡、協力、団結を強化することを目的とする。
◆事業
本会は前条の目的を達成するため、左の事業を行う。
1、祖廟護持の組織強化
2、教育事業の提携
3、布教の連合強化
4、懇談会・研究会・講演会等の開催
5、各種出版物の刊行
6、海外布教の提携及び交流
7、対外的な各種の運動
8、その他
◆加盟団体
日蓮宗 法華宗(本門流)
頭本法華宗 法華宗(陣門流)
本門佛立宗 日蓮本宗
法華宗(真門流) 本門法華宗
国柱会 日本山妙法寺
京都門下連合会

◆2月5・9日 第18回教師養成特別講習会第3期開講(於、大本山本能寺) 12名が教師資格を取得
◆2月15日 興隆学林専門学校後期授業開始
◆3月6日 興隆学林専門学校令和5年度卒業式
◆3月11日 東日本大震災慰霊法要(於、宗務院)
◆3月14日 第34回法華宗教学研究発表大会(於、東京国際フォーラム)
◆4月1日 法華宗全13教区宗務所所長就任。任期は令和10年3月31日まで
◆4月10日 興隆学林専門学校令和6年度入学式
◆4月11日 千鳥ヶ淵戦没者慰霊法要
※行事等については予定を含みます。お問い合わせは宗務院(03-5614-3055)まで